

会議名称	第 26 回白書分科会
日時	2023 年 12 月 26 日(火) 15:00-16:20
場所	WEB 開催 (Webex)
参加者	<p>【白書分科会】</p> <p>中村主査 (NTT ドコモ)</p> <p>ビジョン作業班：小西リーダー (KDDI)</p> <p>技術作業班：作本リーダー (富士通)、下西副リーダー (大阪大学)</p> <p>周波数作業班：本多リーダー (エリクソンジャパン) 等 約 60 名</p> <p>総務省、事務局 (NTT データ経営研究所)</p>

(以下、敬称略)

(1) ビジョン作業班報告

- 小西リーダーから、12 月 13 日に開催した WAKUWAKU2030「第 2 回ワークショップ」の開催結果について報告を行った。
- 事務局から、WAKUWAKU2030「第 2 回ワークショップ」参加結果について報告を行った。
- 主な質疑は以下のとおり。
 - 次回テーマのひとつとなっているモビリティに関しては白書から適任者を選定する。(小西)
 - 承知した。(事務局)

(2) 技術作業班報告及びアカデミアとの連携促進

- 作本リーダーから、「技術編別冊作成方針案」および「本編改定案 (E2E アーキテクチャ)」に関する更新内容について、報告がなされた。
- 下西副リーダーから、「B5G シンポジウム」の周知がなされた。
- 主な質疑は以下のとおり。

作成スケジュール

- 2024 年 3 月 8 日開催の総会までに発行されるスケジュールで作成は進められているか。(中村)
 - 2 月 27 日で執筆は完了する見込みである。その後、体裁チェックを行う。発行にあたって具体的に必要となるプロセスをまずは明確にしたい。フォームチェックはいままでの白書で行っていたか。(作本)
 - 基本的には公開情報を引用することとしている。引用の際は引用元を明確にすることで対応していた。(小西)

- 2月27日は技術作業班としての作業完了である。白書分科会として中村氏のオンラインセッションが必要である。その後、事務局による発行にかかる作業が行われる。(下西)
 - 上記作業を実施した後に3月7日中にアップロードして完了としたい。(中村)
 - 発行にあたり必要とされる承認プロセスは再度確認する。(事務局)

作業内容

- E2Eアーキテクチャについての本編改定案に関して、B5Gのアーキテクチャを単体で記載しても5Gとの差異が明確でない。B5G/5Gの技術の差分がわかるようにすべきとの考えを担当者と共有している。(小西)
 - 承知した。(作本)
 - 作成するにあたっての参考にする。(下西)
- 執筆のフォーマットに関しては必要最低限を示している。5ページを目安として、IEEE論文投稿のフォーマットを参考に作成いただきたい。(下西)
- 技術別冊の執筆を行うにあたって、作業の締切および締切後のチェック内容は各技術分野の取りまとめと相談することで問題ないか。(分科会メンバー)
 - レビュー開始は1月末を想定している。締切およびチェック内容は取りまとめ担当者と相談していただきたい。(小西)
- 公開は3月末になるが、参考文献は、別冊公開の3月末までに公開されるものを掲載することで問題ないか。(分科会メンバー)
 - 時期が明確であれば問題ない。(小西)
 - 参考文献は、別冊公開時に発行されている文献であれば問題ない。一般に論文内で使用される「to appear」「to be presented at」等の方法で記載いただきたい。(下西)
- 今後、別冊内容を紹介するにあたって使用できるような、各別冊の概要を作成する予定はあるか。(中村)
 - 各トピックのサマリーは作成することとしている。(作本)

二次利用

- 記載内容は外部投稿へ二次使用できるのか。(分科会メンバー)
 - 白書分科会へ著作権を譲渡いただくことは想定されない認識である。記載情報の活用方法は著者の判断である。(下西)
 - 今後、白書の別冊を海外に向けて発表する場合、事前に著者の了解を得るというプロセスが必要か。(小西)
 - 一般的には、出典元として明示いただければ問題ないと考える。(下西)

(3) 周波数作業班

- 本多リーダーから、WRC-23 で検討された「議題 1.2 6GHz 帯」、「議題 1.4 HIBS 」、「WRC-27 の新議題」、「WRC-31 の暫定新議題」に関する報告がなされた。
- 本多リーダーから、白書内容として「7-15GHz 帯の国内利用状況の評価方法」の記載と「白書別冊の目次案」に関する提案がなされた。
- 主な質疑は以下のとおり。

作成スケジュール

- 作業班で想定するスケジュールで完成とする 2 月 20 日以降は、白書分科会内でのレビューと、事務局内のアップロード作業が続くとの認識で問題ないか。(中村)
 - 問題ない。(事務局、本多)

作業内容

- WRC-23 および周波数作業班での検討結果を踏まえて、日本として今後どうすべきかの示唆、提言があればまとめに入れていただきたい。海外の動向も注視すべきと考える。(中村)
 - 供用技術ということであるため、ターゲット周波数の既存技術・システムとの共存という観点での記載が考えられる。海外の動向に関しては、国・地域ごとに推奨する周波数について見解の違いがある。そういった点は追記できるだろう。(本多)
 - 見えている範囲での検討結果を示した上でご提言いただきたい。(増子)
- 作業班メンバーに作成いただいたエクセルシートは、白書を記述するにあたっての参考資料となるが、白書に直接盛り込む資料でないと考えている。(本多)
 - 詳細検討の資料は有益な部分もある。白書の別紙として盛り込むのもひとつの案である。(中村)
 - 作業用のシートは白書記載の参考資料としてのみ使用し、直接的には掲載しないという意見に同意する。(縣)
- 7-15GHz 帯の中で、今回特定された 7025-7125MHz に関しても記載を含めることで間違っていないか。今回の WRC-23 で検討結論が出ており、国内放送事業者も扱っている周波数帯である。今後、国内利用を考えた際の整理という観点でも記載をするのがいいと考えている。(分科会メンバー)
 - 7-15GHz については 7125MHz 以上を対象に考えていた。検討する。(本多)
 - 少なくとも WRC-23 での検討結果が出て状況が変更されている。新議題が発行され、議題 1.2 の 6GHz の結果は反映するべきであると考えている。1 次ドラフトを作成した段階で相談させていただく。(本多)

- 連続した高帯域として 7025-7125MHz を記載することも一案として考えられる。その際に 6425-7025MHz も含めるかは議論になるかもしれない。(増子)
- 具体的な記載内容に関しては相談させていただきたい。(本多)

(4) その他、事務連絡等(事務局)

- 事務局から、今後の会合予定について、説明を行った。

総会スケジュール

- 総会は 2024 年 3 月 8 日(金) 9:30-11:30 で開催される予定である。(事務局)

WAKUWAKU2030

- WAKUWAKU2030 は年度内に何回実施されるか。(中村)
 - 年度内であと 2 回実施する予定である。白書改定へ影響するのは、実質的な議論が行われる第 3 回までである。(事務局)
 - 承知した。(中村)

以上